

在米大使館将棋イベント（山田大使挨拶）

2021年4月28日

皆さん、こんばんは。駐ブラジル日本国大使、将棋を世界に広める会・理事の山田彰です。私は、外交官の傍ら、日本の将棋を世界に広める活動を25年以上にわたり行ってきました。

皆さんは、チェス International Chess はご存じでしょうが、世界中にはチェスや将棋と同様の性格のボードゲームが何十種類と存在します。私は、その中で将棋が一番面白いと考えています。それは、何十というチェス類似ゲームの中で、日本の将棋だけが『取った相手の駒を自分の駒として使える、盤上の好きなスペースに打つことができる』というユニークなルールを持っているからです。このルールのおかげで、将棋は、他のチェス・ゲームに比べて、格段に複雑に、より戦略的になりました。チェスはゲームの終盤になるにつれ、指手の選択肢が減っていきませんが、将棋では選択肢がむしろ増え、美しい捨て駒を放つ機会も増えます。

私は、こうした日本の将棋の魅力を世界中の多くの人に知ってもらいたいと考えています。

また、世界のどこの国におけるチェスよりも、「将棋」は日本の社会、日本の文化の中で重要な位置を占めています。大きなタイトル戦の結果はトップニュースになることもあり、プロ棋士の対局は新聞、テレビ、インターネットで報じられ、将棋ファンは、対局はもちろん、トップ棋士の昼ご飯にまで関心を持っています。

さて、今日は、将棋界のレジェンドとも言える佐藤九段と森内九段の対局を英語の解説付きで観戦できます。私自身もわくわくしていますが、こうした貴重な機会に立ち会えた視聴者の皆さんは本当にラッキーだと思います。

今日のイベントを機会に、皆さんが将棋、そして日本の文化について興味を持つようになっていただければ嬉しいです。